

好生館だより

2012.1

第13号



「日々是好日」(書者：山口愛加、山田千鶴、横尾美尋)

佐賀県立病院好生館

設立の理念

「好生の徳は民心にあまねし」
「学問なくして名医になるは
竟束なきことなり」

基本理念

「病む人、家族、そして県民の
ここに添った
最良の医療をめざします」

基本方針(目標)

1. 患者中心の信頼される医療
2. 良質で安全な高度医療
3. 救急医療の確保と地域連携の医療
4. 教育の重視と人材の育成
5. 経営努力による経営効率の改善

目次

- 設立理念、基本理念 1ページ
- 理事長・館長挨拶 2ページ
- 新病院建設の進捗状況 2ページ
- 診療科紹介：産婦人科、
リハビリテーションセンター ... 3ページ
- 看護部だより 4ページ
- 医療安全だより 5ページ
- 部門紹介：相談支援センター ... 5ページ
- 豆知識：食後の薬はいつ
何で飲む? 6ページ
- 知っていますか？検査の話
人間ドックの超音波検査 6ページ
- 新任医師の紹介 6ページ
- 好生館ニュース 7ページ
- 外来医師一覧表 8ページ



地方独立行政法人

佐賀県立病院好生館

〒840-8571

佐賀市水ヶ江一丁目12番9号

T E L 0952-24-2171(代表)

F A X 0952-29-9390

<http://www.koseikan.jp/>

年頭のご挨拶



理事長
十時 忠秀

あけましておめでとうございます。

好生館の姉妹施設である九州国際重粒子線がん治療センター（愛称サガハイマツト）について紹介します。重粒子線がん治療とは放射線治療の一種で、炭素を光の速さの約70%まで加速し、がん病巣にピンポイント照射します。炭素線は、従来の放射線治療で使われるエックス線などと異なり、ある一定の深さで高い線量域のピークをつくります。この特性を利用し、ピークをがんの部位に合わせることで、周囲の正常組織への副作用を最小限に抑えることが出来ます。骨肉腫など従来の放射線治療が効きにくい悪性腫瘍や手術が困難ながんに対しても治療の可能性が広がりました。外科療法や化学療法と比較して患者さんへの体の負担が少ない治療法で、初期の肺がんなら1回、肝臓がんは2回照射で治療終了です。治療に際し痛みはありません。入院の必要もありません。照射時間は約3分です。鳥栖市で建設が進められているサガハイマツトは、日本で4番目、九州では初の重粒子線がん治療施設です。JR九州新幹線「新鳥栖駅」前に、来年春、新しい好生館の開設とほぼ時を同じくしてオープンします。

年頭のご挨拶



館長
樗木 等

新年のお慶びを申し上げます。

昨年は世界的な経済不況とEUの混沌、日本の領有権外交問題の不甲斐なさ、東北大震災を始め世界各地で地震、洪水などの災害がありました。我が国は福島原発災害の沈静化と東北地方復興が喫緊として継続的な課題で、国民の願いです。

本年は辰年にちなんで竜の機運で少しでも国民が幸せに安寧になるように祈念します。

嘉瀬地区の新しい好生館の工事も順調で外観迫力を増して来ました。本年末にはおおよそ完成予定です。この中で安全で良質な医療提供をしなければ、と見る度に思いが強くなり緊張します。皆様もお近くにお出かけの際は、外観だけでもご覧いただけましたら幸いです。

今年は、介護と医療の診療報酬の同時改訂時期です。患者さんの医療費に直結する事項も多々含まれますが、医療提供者にとっても重大な関心事です。好生館の医療提供が適正に評価されるような改訂になる事を祈っています。

皆様の御健勝と幸多き年を祈念して年頭の御挨拶とします。

新病院建設の進捗状況



新病院建設部長
川崎 真澄

昨年は東日本大震災を始めとして豪雨災害など全国的に大きな災害に見舞われた1年となりましたが、今年は、全国民にとって穏やかに過ごすことのできる希望の年となるよう祈念しております。

さて、新病院の建設については、平成22年10月6日に起工式を行い、佐賀県の中核的医療機関として、県民の皆様により良い医療の提供ができる病院となるよう、整備を進めているところです。

病院本体については、免震構造を採用して地震の被害を最小限に抑えることや災害時のより多くの患者受入れ体制の整備、屋上ヘリポートを整備し緊急搬送など、様々な取組みを行い、災害時医療に貢献ができる病院として整備を進めています。

また、平常時には、より高度な医療提供ができるようNICU、院内ICU、感染症病床、無菌病床などの施設整備を行っています。

その他、快適な患者環境の整備、ユニバーサルデザインへの対応、また省エネ・省CO₂の取組み（国土

交通省の「平成22年度住宅・建築物省CO₂先導事業」に九州で唯一採択）など、県民の皆様からも信頼され温かみのある病院となるよう、スタッフ一同協力しながら、建設推進を図っているところです。

昨年6月までに基礎工事を終え7月から鉄骨の建設を進め、10月21日には上棟式を執り行い最上部の鉄骨の取り付けが完了したところです。

現在、低層階の鉄筋コンクリート工事と内装工事に取り掛かっており、今年12月に竣工を予定、また、並行して研修・宿舎棟、保育所棟、外構などの工事も今後実施していくこととしています。

平成25年春の開院に向けて、関係者一同精一杯努力していく所存ですので、皆様方の一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



新病院建設現場全景（H23.11.17）

【診療科紹介】産婦人科



部長
安永 牧生

全国的な産婦人科医不足のありを受け、長らく休止しておりました分娩を2010年9月より再開いたしました。分娩休止の影響で不足するスタッフと機材のため、のんびりと再開しておりましたが、徐々に取り扱い症例が増加しているところです。

★当院の周産期医療の特徴

当院には佐賀県内唯一の小児外科があります。そのため、出生直後より手術が必要であると診断がついた妊婦さんを管理しております。また、総合病院の強みで様々な病気を抱えながら妊娠を継続している妊婦さんも取り扱っております。小児科、麻酔科をはじめとした様々な病院スタッフのおかげで緊急事態にも素早く対応可能です。社会的、経済的に妊娠継続が困難である方のサポートも積極的に行っておりますので随時ご相談いただければと思います。もちろん、それ以外に「総合病院での分娩が安心」とか「家が近所」など医学的に問題がなくてもご希望の方の分娩も取り扱っておりますので、ご気楽にご相談ください。

お産始めました！

★佐賀県内周産期施設における当院の役割

近隣に三次周産期医療施設としてNHO佐賀病院、佐賀大学附属病院があります。最重症者（1000g未満の超低出生体重時や重度な母体合併症）などはこれらの施設で管理が必要です。佐賀県の周産期医療はAll Saga体制で、これらの大病院だけでなく診療所も含めたすべての産科医療機関が一体となって様々な妊婦さんを管理しております。一般の診療所では取り扱いが困難で病院管理が必要だが比較的軽症な妊婦さんに関しては当院にて取り扱い、これらの三次医療機関の負担を軽減するように努力しております。

もちろん周産期医療だけでなく、従来通り良性疾患を中心とした婦人科診療も行っております。県内随一の腹腔鏡下手術症例数を誇っており、患者さんの負担の少ない医療を目指しております。産婦人科領域でお困りでしたらいつでも気楽にご相談ください。

【診療科紹介】リハビリテーションセンター



係長
片渕 宏輔

◆リハビリテーションセンターの役割

「リハビリテーション」という言葉は、よく「機能回復訓練」という意味で用いられることが多いのですが、語源はre-（再び）とラテン語の形容詞であるhabilis（適した）と-ation（～にすること）からなっており、「その人らしい生活を取り戻すこと」を言います。当院でのリハビリの特徴は、急性期病院における発症または術後早期からの早期リハビリの実施と、緩和ケア病棟が併設されていることもあり、がん疾患患者に対するリハビリの実施という、いわば両極を担っているところかと思えます。しかし、リハビリの語源からしても、この両時期におけるリハビリセンターの役割は変わることなく、障害を可能な限り回復させ、残された機能を最大限に活用し、より自立したその人らしい社会生活を送れるように支援することです。

◆チームアプローチの充実に向けて

理学療法士7名、作業療法士4名、言語聴覚士2名が当院のスタッフで、脳血管疾患、運動器、呼吸器、心大血管疾患の4分野にそれぞれ担当者を配置し、患者さまの多様なニーズに対して医師や看護師等と共に専門的に関わっています。また、リハビリの目標達成のために転院されるケースが少なくないため、地域医療機関と継ぎ目のない連携を心がけています。疾病や事故などにより障害を受けられた方が、少しでも早くその人らしい生活を取り戻せるように、スタッフ一同真心をもって援助していきたいと思っております。



看護部だより

1. 平成23年度看護職員院内研修の紹介

(1) 新人看護師研修

看護部では4月に新人看護師32名を迎えました。新人看護師教育はプリセプター体制を用いて「新人看護師教育マニュアル」に基づき行っています。各部署に教育担当者を配置し、スタッフ全員でプリセプター・プリセプティを支援しながら教育をしています。

新人看護師は4月始めに4日間の採用時研修を、また5月中旬までに週1回の基礎看護技術研修を行い、その後、教育担当者を中心に部署教育や前期・中期の習得状況を確認し、指導を組み立てています。



静脈内注射



筋肉内注射






輸液・シリンジポンプの取扱い

(2) リーダーシップ・マネジメント研修

看護部ではリーダーとしての役割を学び、看護実践場面でリーダーシップが発揮できることを目標に、平成23年5月より平成24年2月まで10回を1シリーズとし、「リーダーシップ・マネジメント研修」を実施しています。受講生は研修目標にそって毎月講義を受け、各自課題を持って日々の看護実践を行っています。



2. 平成23年度 新認定看護師誕生（平成23年6月4日取得）

氏名/認定分野		メッセージ
三好 恵美子 感染管理		感染対策は、医療従事者のひとりひとりが実践することが大切です。現場で実践、そして継続できる感染対策をめざし、各部門と連携しながら活動していきたいと考えています。感染対策について疑問や質問などありましたら、お気軽に相談下さい。
岸副 登記子 がん化学療法看護		抗がん剤治療を受ける患者さんご家族の安全と安心を目指して、副作用対策や入院・外来の円滑な移行をサポートします。治療に必要な情報を提供し、納得した意志決定をしていただけるよう、支援していきたいと考えています。
北原 真由子 摂食・嚥下障害看護		「食べる・飲み込む」という機能を失った方の障害を評価し、個々の計画を立案し実施するとともに、スタッフへの指導や相談に応じています。一人でも多くの方の機能回復に役立ち「食べたい」を支えることができるように努力していきたいと思えます。

【医療安全だより】



医療安全管理室
GRM
横田 栄子

医療事故が発生した場合、速やかに報告・対応・調査・分析するため、報告制度を定めています。この報告制度には、事故に至らないまでのヒヤリとしたりハッとした事例や軽微な事故も含まれます。これらの報告をもとに、業務手順に抜けが起きないようにして、医療事故が起きないように努めています。

報告事例は報告システムから職員全員が情報を共有化できるようになっていますが、その月の報告事例のなかから全職員への周知がより必要と考えるテーマを選出し、毎月発行しているセーフティマネージメントレターに掲載し、情報共有できるようにしています。

今年度の医療安全週間ポスターのテーマは指差し呼称でした。

ミスや事故を未然に防止するには異常に気づき、それを発見し、変だと感じる感性、つまり危険に対する感受性がなければ、目の前に重大な危険や兆候が存在

ヒヤリ・ハット報告

しても気づかずに見過ごすことになります。このようなヒューマンエラーの予防に役立つのは、要素所で集中力を高める指差し呼称です。

眼・腕・指・耳・口を総動員して確認する方法です。何もしない時に比べて、6分の1に減少するという実験結果があります。是非、指差し呼称をしてヒューマンエラーを減少させましょう！



【部門紹介】

相談支援センター設置5年目を迎えて



相談支援センター
医療相談係長
大石 美穂

がん対策が推し進められるなか、当館は平成19年にがん診療連携拠点病院として、これまでは地域医療連携携室、医療相談室と別の部署であった2室を統合し、相談支援センターが設置されました。地域医療連携係では各医療機関との様々な連携業務をはじめとし、地域医療支援病院としての委員会・研修会に関すること、

開放型病院に関すること、紹介患者の受付業務、紹介率・逆紹介率の管理等を行っています。平成22年度の紹介率は65.5%、逆紹介率は78.2%となっています。医療相談係では、がんに係る一般的な医療情報の提供、アスベストに関する相談、医療費や医療扶助など療養上の相談、各種公費負担制度及び申請手続の説明、各種福祉サービスの紹介、在宅療養に関する相談及び支援を行っています。当センターへの皆様からのがん相談件数は、平成19年度は年間相談件数が月平均36件であったものが、22年度には月平均167件となっており、年々増加しています。これは当センターが行ってきた県内各分野へのポスター・チラシ送付、県民公開

講座や、出向き講師、がん関連質問のテレビ出演回答、がん患者会の立ち上げ、がん情報提供コーナーの新設、更に医療福祉関係者のための症例検討会の定期開催で皆様にひろく相談支援センターを知って頂けた結果でありましょう。"相談支援センター"という今までにない新規取り組みから5年目を迎え、今後も皆様の相談には十分な情報提供や、院外との各専門職とのネットワークで支援のできる窓口としてご利用頂き、お役にたてるよう一層の努力をして参ります。



豆知識

食後の薬はいつ何で飲む？

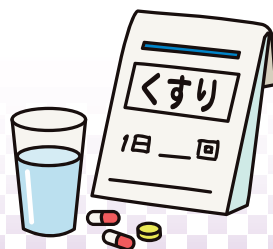


薬剤長
奥平 献

食後に飲む薬についてどう説明されていますか。食後30分以内に水や湯冷まして飲むようにとか、食事の20～30分後に水や湯冷まして飲むようにと言われてたと思います。飲み忘れがもっともいけません。食後のお茶で飲まれてもかまいませんと言っています。食後は食物が胃の中にあるので刺激が少なく胃を荒らしませんし、胃腸の働きが活発となり吸収が良くなる場合もあります。一般的には吸収がなだらかになります。ちなみに、お茶と飲み合わせが悪いと言われている鉄剤でも、鉄欠乏性貧血の時には、お茶と一緒に飲んでも鉄の吸収は悪くならないというデータがあります。ですから、薬は食後すぐにお茶で飲んでかまわないのです。食後に服用する最大の理由は、忘れずに飲んでもらうため

す。三度の決まった時間の食事と薬の服用を心がけてください。

交代制の勤務であるとかで不規則になる場合はどうするのか聞かれます。そういう場合は、食事に関係なく出来るだけ決まった時間で飲んでくださいと答えています。薬によっては吸収が食事の影響を大きく受けるものも有りますので、医師または薬剤師に相談してみてください。小児が満腹であると飲みたがらない場合があります。その時は食前でもかまいませんと答えています。



知ってますか？検査の話 人間ドックの超音波検査



検査部
松田 知子

当院の人間ドックでは通常、甲状腺、肝臓、胆嚢、膵臓、脾臓、腎臓、子宮、前立腺の超音波検査を行っています。

検査手順は、検査する対象臓器がある皮膚面にゼリーを塗り、探触子という超音波を送受信する器具を直接あてるだけで痛くありません。また、X線検査と異なり、被爆が無い検査です。

超音波検査の難しい点は、超音波が空気の中を通ることができないことです。そのため腸の中にガスの多い方は、その後ろにある臓器はよく見えないことがあります。また超音波は深いところまでは到達しにくいので、体の大きい方や脂肪の多い方は見えにくいことがあります。

正しい検査結果を出すために次のことをお願いして

います。

1：食事制限

検査当日の朝は食べたり飲んだりしないでください。なぜ食事制限が必要かという、食事することで、胆嚢が縮んでしまい、描出不良となってしまう。また胃や十二指腸などの腸管が動くことで、腹部臓器の描出に支障を来します。

2：排尿の我慢

子宮や前立腺は、腸の中のガスの影響を受けやすいので、おしっこを我慢して膀胱に尿を貯めることにより、描出しやすくなります。

3：検査の服装

当院では検査着に着替えてもらいますが、通常、お腹が出せるように服をずらすため、ワンピースなどの上下がつながった服は検査に向きません。また、ブラジャーを外す必要はありませんが、ボディースーツは脱いでもらいます。

新任医師の紹介 (平成23年10月1日～12月31日)

診療科目	氏名	顔写真	専門分野
麻酔科	興梶 雅代 医師		麻酔一般



好生館ニュース

佐賀県立佐賀北高等学校芸術コース書道科3年生の皆様から寄贈された「書」が、本館2階および3階に展示されています。



佐賀北高等学校芸術コース書道科の皆様



書者：今泉恵理子



書者：橋口加奈子



書者：樋口叶美



書者：樋口恵美



書者：糸山早紀、今泉恵理子、熊谷智佐登



書者：小柳陽香



書者：山田千鶴



書者：坂井明香里



書者：熊谷智佐登



書者：小柳陽香、坂井明香里、鍋島理子



書者：糸山早紀



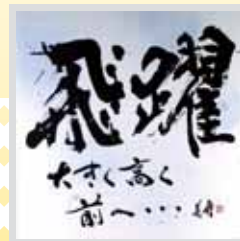
書者：鍋島理子



書者：山口愛加



書者：橋口加奈子、樋口叶美、樋口恵美



書者：横尾美尋



外来医師一覽表

(平成23年12月1日現在)

区 分		月	火	水	木	金			
内科	午前	内科新患	担当医	権藤 久司 担当医	勝田 仁	担当医	権藤 久司 担当医		
		呼吸器	新患	岩永健太郎	森塚 達也	森塚 達也	岩永健太郎	川浦 太	岩永健太郎
			再来	森塚 達也	川浦 太	岩永健太郎	川浦 太	岩永健太郎	
		肝臓・胆道・膵臓		藤本 優 大塚 大河	秋山 巧	川添 聖治 大塚 大河	川添 聖治	藤本 優 秋山 巧	
		消化器(胃・腸)		富永 直之	緒方 伸一	樋口 徹	緒方 伸一	富永 直之	
		血液	新患	近藤誠司/桑原伸夫	桑原 伸夫	近藤 誠司	桑原伸夫/近藤誠司	松石 英城	
			再来	松石 英城	桑原 伸夫	松石 英城	桑原伸夫/近藤誠司	権藤 久司	
		腎臓・透析		大塚 伸	中村 恵	光武 涼子	大塚 伸	中村 恵	
		糖尿病内分泌		土居 隆志		土居 隆志 勝田 仁		土居 隆志	
		腫瘍内科 (再診・院内コンサルト)		嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	
		感染症 (再診・院内コンサルト)		福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	
		消化管内視鏡		緒方、樋口	川添、藤本	緒方、富永(直)	秋山、富永(直)、樋口	緒方、樋口	
		気管支鏡		岩永、川浦			岩永、森塚		
腹部エコー		川添、秋山	大塚(大)	藤本、秋山	藤本、大塚(大)	川添、大塚(大)			
透 析		中村	大塚(伸)	中村・大塚(伸)	中村	大塚(伸)			
外科	午前	消化器・一般	新患	田中 聡也	田中 雅之	廣橋 喜美	救急患者のみ(当番医)	佐藤 清治	
			再来	廣橋 喜美	佐藤 清治	樋口 和義	田中聡也/田中雅之	田中聡也/田中雅之	
		呼吸器	新患		光岡 正浩		光岡 正浩		
			再来		光岡正浩/山田典子		光岡正浩/山田典子		
小児外科		生野 猛/高橋由紀子	手 術	江角元史郎	生野 猛/高橋由紀子	手 術			
眼科	午前	担当医 (新患のみ)	手 術	古賀 隆史 福永由起子 高橋 峰光	荒木 理子 担当医(新患のみ)	手 術	古賀 隆史 福永由起子 高橋 峰光		
	午後								
産婦人科	午前	婦人科	安永 牧生 荒木 保博 小野 剛史	安永 牧生 荒木 保博	手 術	荒木 保博 小野 剛史	手 術		
		産科		小野 剛史		安永 牧生			
小児科	午後	予約外来		予約外来		予約外来			
	午前	市丸 智浩 熊本 愛子	今吉美代子 宮村 文弥	市丸 智浩 熊本 愛子	市丸 智浩 磯村 直子	今吉美代子 磯村 直子			
	午後	アレルギー外来 /予防接種/乳児健診	予防接種	予防接種/ アレルギー外来	アレルギー外来 1ヶ月検診	予約外来			
午後(時間外)		その日の担当が診察します。							
耳鼻 いんこう科	午前	手 術	宮崎 純二 恒富 日子 横川 恭子	手 術	宮崎 純二 恒富 日子 横川 恭子	宮崎 純二 恒富 日子 横川 恭子			
皮膚科	午前	武下 泰三 北 和代	武下 泰三 北 和代	武下 泰三 北 和代	手 術	武下 泰三 北 和代			
	午後					予約外来(再診のみ)			
泌尿器科	午前	徳田 倫章 諸隈 洋志 内野 太郎 阿部 立郎	徳田 倫章 内野 洋志 阿部 立郎	手 術	徳田 倫章 諸隈 太郎 阿部 立郎	諸隈 太 洋志			
整形外科	午前	野口 康男 佛坂 俊輔 前 隆男 佐々木宏介 松下 昌史	竹内 直英 (新患)	手 術	佛坂 俊輔 前 隆男 佐々木宏介 松下 昌史	手 術	野口 康男 前 隆男 佐々木宏介 竹内 直英 松下 昌史		
	午後	予約外来					予約外来		
放射線科	消化管診断外来				梶原 哲郎	梶原 哲郎			
	画像検査 部門外来		野尻 淳一 眞武 邦茂 (梶原 寿浩)	川野 倫作 (野尻 淳一) 寿浩	眞武 邦茂 (川野 倫作)	川野 倫作 (野尻 淳一)	川野 倫作 (野尻 淳一) 寿浩		
	消化管造影		梶原 哲郎	梶原 哲郎		眞武 邦茂	梶原 哲郎		
	放射線治療		渡辺 哲雄	渡辺 哲雄 (徳丸直郎：午後)	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄		
脳神経内科	午前	新患 再来	岩崎めぐみ 高島 洋	高島 洋	岩崎めぐみ 小杉 雅史	小杉 雅史	小杉 雅史 高島 洋		
	午後	(14:00~16:00)				パーキンソン病 外来(予約制)			
脳神経外科	午前	坂田 修治 萩原 直司	萩原 直司	坂田 修治 伊藤 寛	手 術	坂田 修治 伊藤 寛			
精神科	午前	原 富英	原 富英	原 富英	原 富英	原 富英			
	午後	14:30~	物忘れ外来(予約制)			物忘れ外来(予約制)			
循環器内科	午前	貞松 研二 塩見 哲也	吉田 敬規 古閑 靖章	吉田 敬規 井上 晃太	心 カ テ	林田 潔 塩見 哲也 三根 大悟			
	不整脈外来	永元 康嗣		永元 康嗣					
心臓血管 外科	午前	手 術	内藤 光三 村山 順一	手 術 (手術午前中のみ 紹介・予約：榑木等)	内藤 光三 村山 順一	手 術			
緩和ケア科	午前	小杉 寿文 濱田 献			小杉 寿文 濱田 献				
人間ドック	一 般	井之口香映子	井之口香映子	権藤 久司	井之口香映子	井之口香映子			
	脳ドック	高島 洋	坂田 修治			高島 洋			
	心臓ドック					榑木 等/林田 潔			

【発行】 ニュースレター小委員会
(問合せ先) 広報室 0952-28-1151